

相生デイサービス新聞

発行所
相生DS
44-4165

稲刈り始まる

刈り取った稲が稲架木で干されついでにいます。こんな風景に人の営みのやさしさを感じます。

太陽と大地の匂いがする新米が食卓にあがります。

名歌

さかしまはそよ色としもなかりけり榎立つ山の秋の夕ぐれ

寂蓮



霧の朝(長野玉滝村)



あわまんじゅう

今月の予定

- 7(土) ハーモニー・民謡
 - 11(水) 藤美会
 - 12(木) ほのか
 - 16(月) 習字
 - 17(火) 運動会
 - 20(金) 春さんと仲間たち
 - 26(木) りんごの会
 - 27(金) よさこいポパイ
 - 31(火) ラウレアウラ
- ※小林音楽
※ついでに華の会
※おやつ作り

- 何屋さん
- 2(月)
 - 11(水)
 - 19(木)
 - 27(金)

芸術の秋



ミロのビーナス

ギリシヤの大理石彫像。一八二〇年にエーゲ海ミロス島で発見。正しくは「ミロス島のアフロディテ」(作者時代不明)

季節の言葉

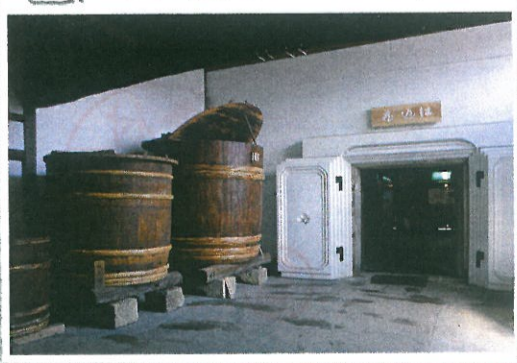
かん寒 露

二十四節気のひとつ。朝晩のひんやりとした寒気に深まる秋を感じます。



(柿に残る西陽) 谷内六郎

何屋さんかな



思い出の名画



タラのテーマも印象的に(1952年)

「本日より、入口を拡張いたします」
デパートの一部が爆破された。
店長は困ったが...
翌日、デパートの入口に次のように書かれたポスターを貼った。
「本日より、入口を拡張いたします」

何と詠む

- 神無月()
- 困栗()
- 落葉松()
- 秋裕()

天声珍語

元気なおばさまたちが降りて車内に静寂がもどった。ようやく栓を抜いた。泡で指が濡れた。車窓に流れる風景をただぼーっと見ている。この無駄な時間が好きなのだ。山がある。川がある。かやぶきの家がある。息をのむようなそんな美しさとは遠く哀愁にみちた秋の風情がある。

奥羽本線の列車は峠にさしかかった。ゆ水たはずみでまた指が濡れた。